

第10回 当別町新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和2年10月29日（木）9時00分～

場 所：当別町役場 第2庁舎

1 開会

2 議事

(1) 「警戒ステージ2」への移行について

(2) 今後の対応

3 その他

4 閉会

【配布資料】

資料 1：「警戒ステージ2」への移行について

資料 2：「警戒ステージ2」における感染拡大防止に向けた施策について
(北海道の取り組み)

資料 3：新型コロナウイルス感染症について

参考資料：警戒ステージの設定の考え方

「警戒ステージ2」への移行について（案）

【令和2年10月28日】

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
10/27	151床	2床	増加	増加	291人/週	増加	42%
10/26	150床	3床	増加	増加	295人/週	増加	42%
ステージ2 基準	150床	15床	増加	増加	107人/週	増加	50%

10月28日をもって、「ステージ2」へ移行

【判断の根拠】

別添のとおり

【ステージ2の基本認識】

ステージ2は、感染が徐々に広がり始める状況であり、社会経済活動への影響を最小限に抑えながら、この段階で感染防止対策を徹底し、感染拡大を早期に抑え込み、社会経済活動との両立を進めるための重要なステージ

【施策の考え方】

全道域で危機感や感染防止意識を高めつつ、道民等に対して特措法に基づく協力要請を行うとともに、普及啓発等の感染拡大防止対策の更なる強化を実施

判断の根拠について

本道においては、警戒ステージのステージ2の指標のうち、病床、療養者数、PCR検査陽性率、新規感染者数について前週から増加傾向であるなど、5つの指標で基準を超えた。

シルバーウィーク以降、連日2桁の新規感染者が発生し、10月22日からは4月、5月の感染ピーク時を上回る感染者の発生が連続し、10月24日には過去最多となる60名の感染者が確認されるとともに、入院患者数は9月27日の77人から一ヶ月で倍増し、10月26日にはステージ2の基準である150人に達したところ。

年代別割合では、30代以下が約7割を占め、若い世代を中心に感染が拡大するとともに、40代以上の実数も拡大していることから世代を問わず、感染の広がりが見られる。

地域の感染状況は、石狩振興局管内の感染者数が約7割と多数を占めているものの、空知、胆振、日高、釧路振興局管内で集団感染が発生するとともに、全道各地でリンクなしの新規感染が確認されており、全道域での感染の広がりが見られる。

感染者の行動履歴では、旅行など道外との往来、会食や会合などへの参加、職場内や家庭内での接触など、幅広い場面での「マスクをしていない」、「人と人との距離が近い」といった感染リスクが高くなる行動事例が見られ、また、接待を伴う飲食店等、学校、職場、福祉施設など、多様な場での集団感染が確認されている。

10月27日には、ステージ2への移行の7つの指標のうち、5つの指標で基準を超えたところであり、新規感染者数の増加が続き、世代間や地域での感染の広がりが見られる中、入院患者数も増えていること等を総合的に勘案し、ステージ2への移行が必要であると判断する。

最近の感染状況について

1. 警戒ステージに掲げる指標について

【医療提供体制等の負荷(指標①)】

10月27日時点の入院患者数は151名、うち重症者は2名であり、病床は「ステージ2」の指標(150床)を超え、増加傾向にある。

療養者数は、入院患者151名と宿泊療養者180名の計331名であり、前の一週間と比べて増加傾向にある。

【監視体制(指標②)】

直近1週間(10月21日～10月27日)の検査数は6,223件、陽性率は4.7%となり、検査数、陽性率ともに増加傾向にある。

【感染状況(指標③)】

直近1週間の新規感染者数は291名であり、ステージ2の指標(107名)を大きく超えて、前の一週間の感染者と比べて増加傾向にある。リンクなしの感染者数割合の直近1週間平均は41.9%であり、「ステージ2」の指標(50%)を超えていないが増加傾向にある。

最近の感染状況について

2. その他の数値、データについて

【感染者の年代別割合】

30代以下が約7割を占め、若い世代を中心に感染が拡大するとともに、40代以上の実数も拡大していることから、世代を問わず、感染の広がりが見られる。

【療養者の状況(入院と宿泊療養)】

入院は151名、宿泊療養は180名で療養者総数は331名となっている。重症者は2名となっており、これを除く、無症状、軽症、中等症の患者は329名となっている。

【感染者の行動履歴】

感染者の主な行動履歴を見ると、旅行など道外との往来、会食や会合などへの参加、職場内や家庭内での接触といった幅広い事例が見られる。

【集団感染の発生事例】

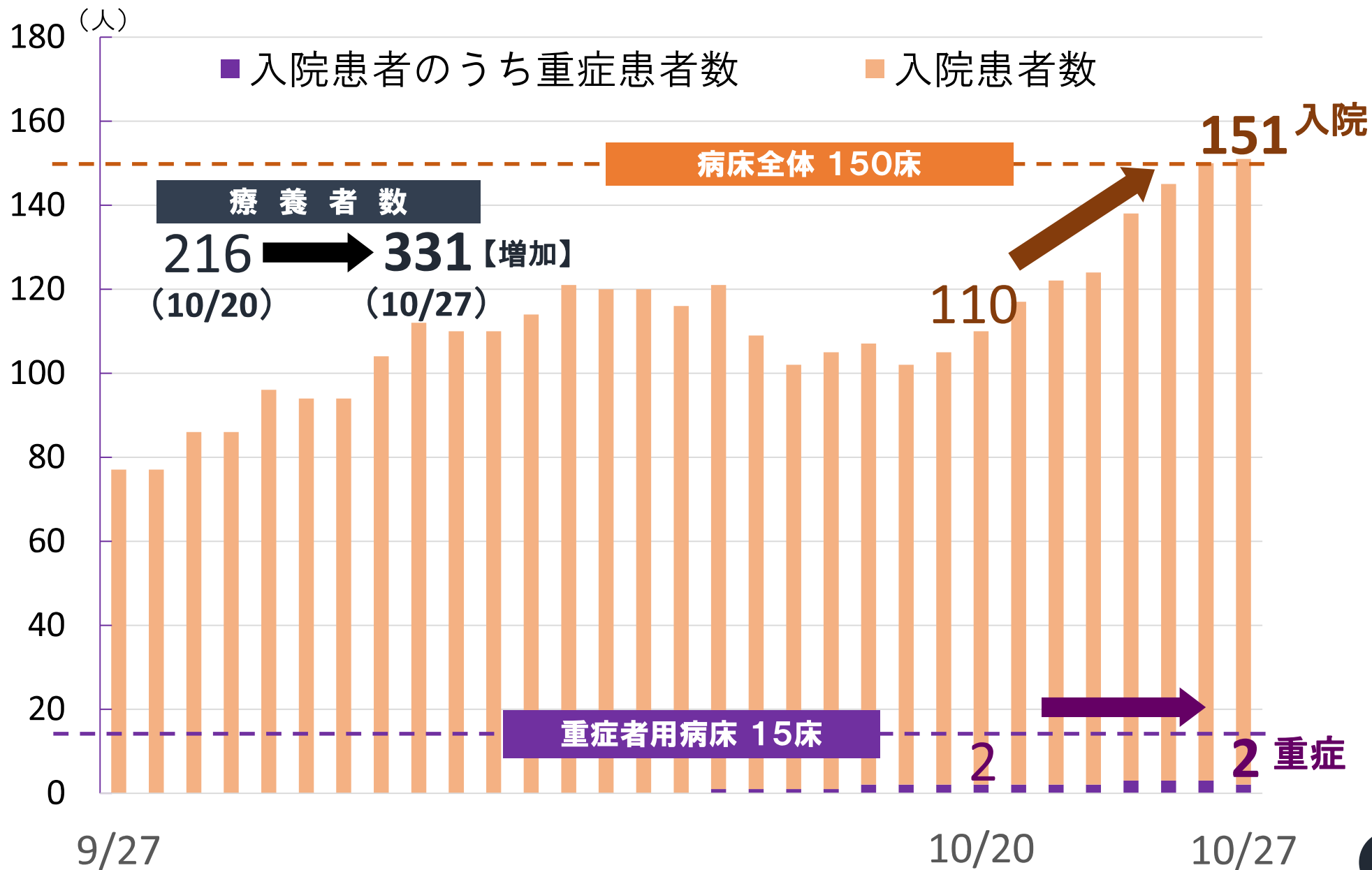
接待を伴う飲食店等、学校、職場、福祉施設において集団感染が確認されている。

【地域別の感染状況】

地域の感染状況は、都市部を含む石狩振興局管内の感染者数が6割以上と多数を占めているものの、一ヶ月前と比較して、札幌市保健所管内以外での感染者の割合が高くなっている。

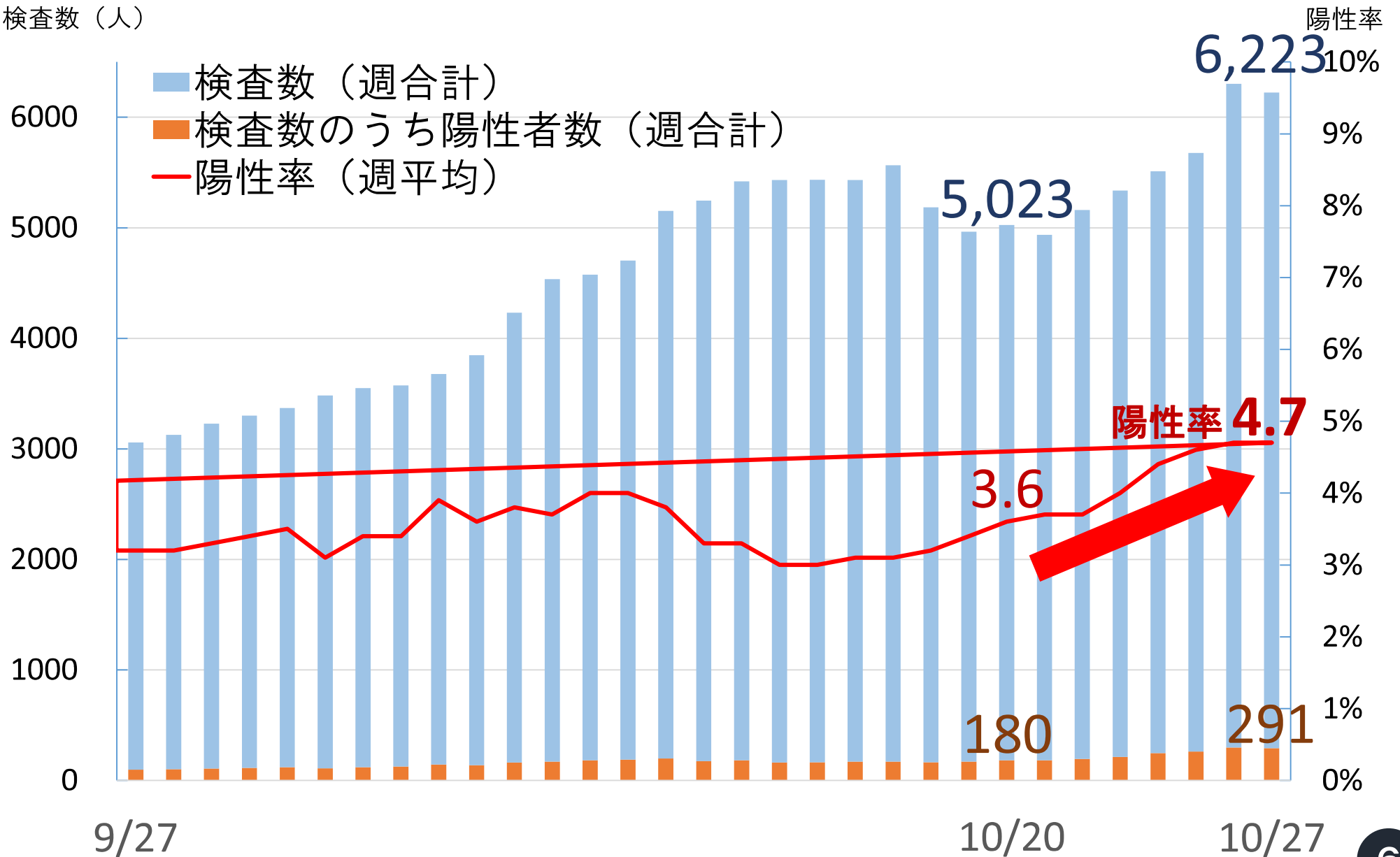
最近では空知、胆振、日高、釧路振興局管内で集団感染が発生するとともに、全道各地でリンクなしの新規感染が確認されており、全道域での感染の広がりが見られる。

医療提供体制等の負荷(指標①)



監視体制(指標②)

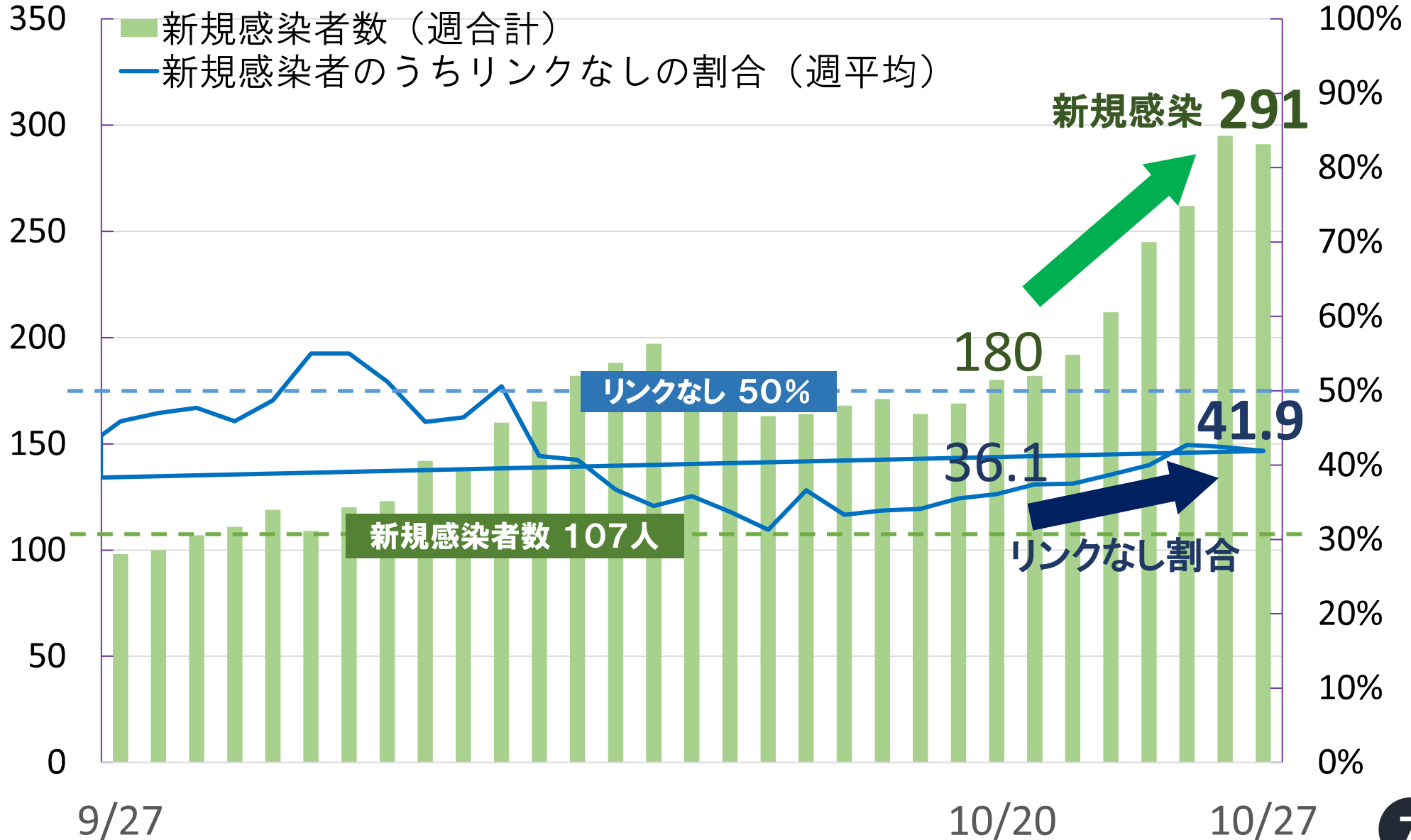
検査数 (人)



感染状況(指標③)

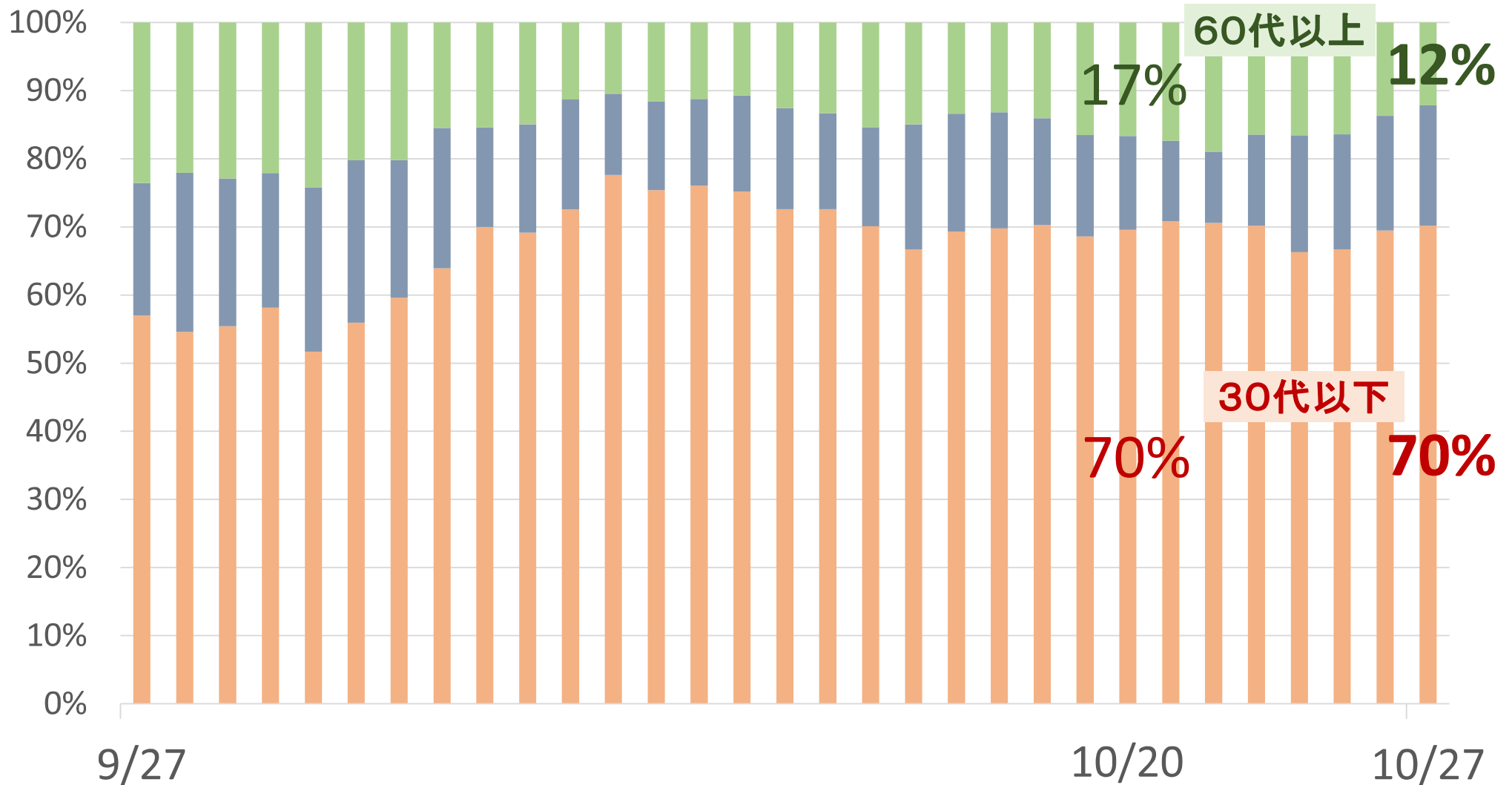
新規感染数(人)

リンクなしの割合



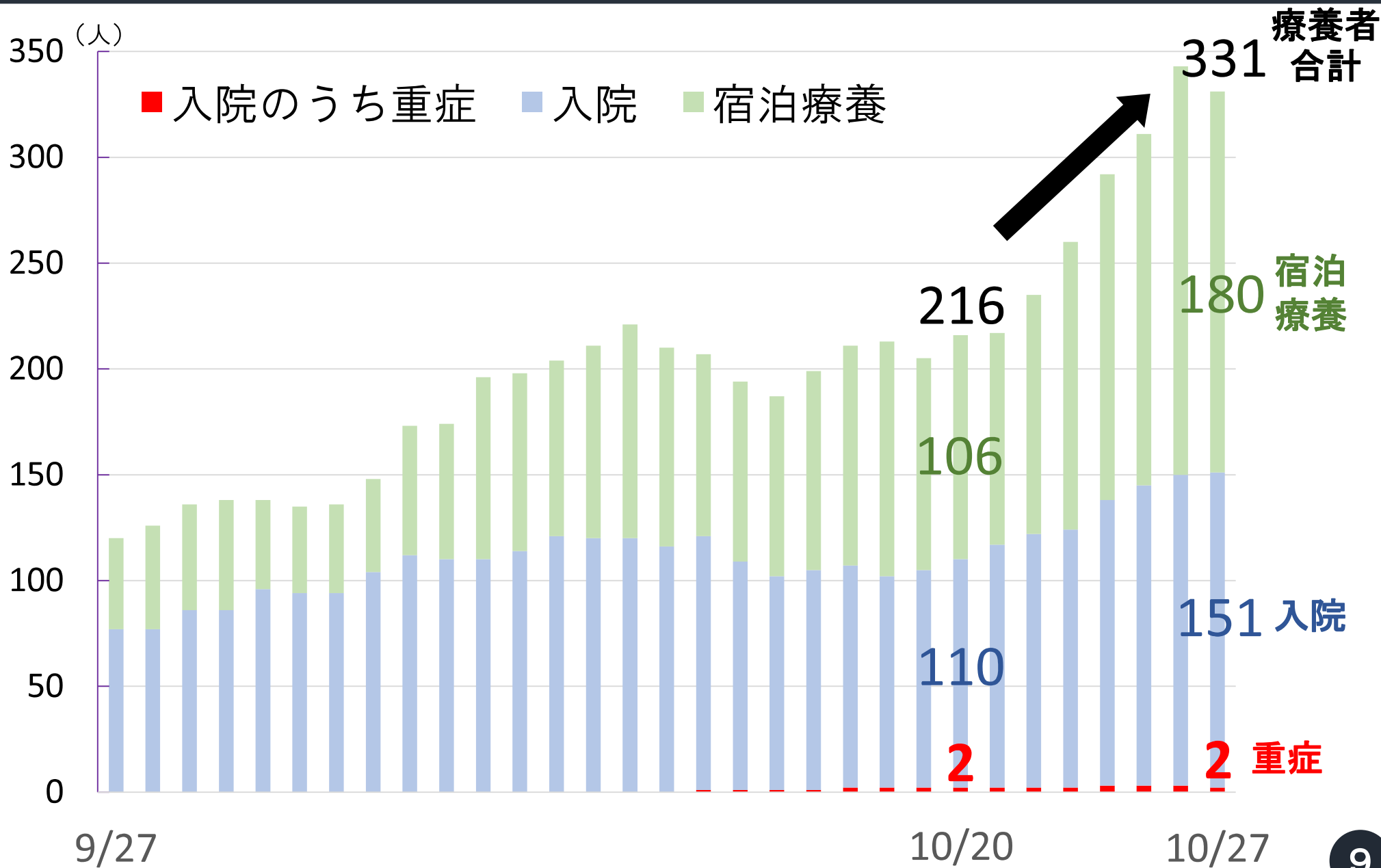
新規感染者の年代別割合

30代以下 40代・50代 60代以上



(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)

療養者の状況(入院と宿泊療養)



地域別の新規感染者数(札幌市／札幌市以外)

1か月前

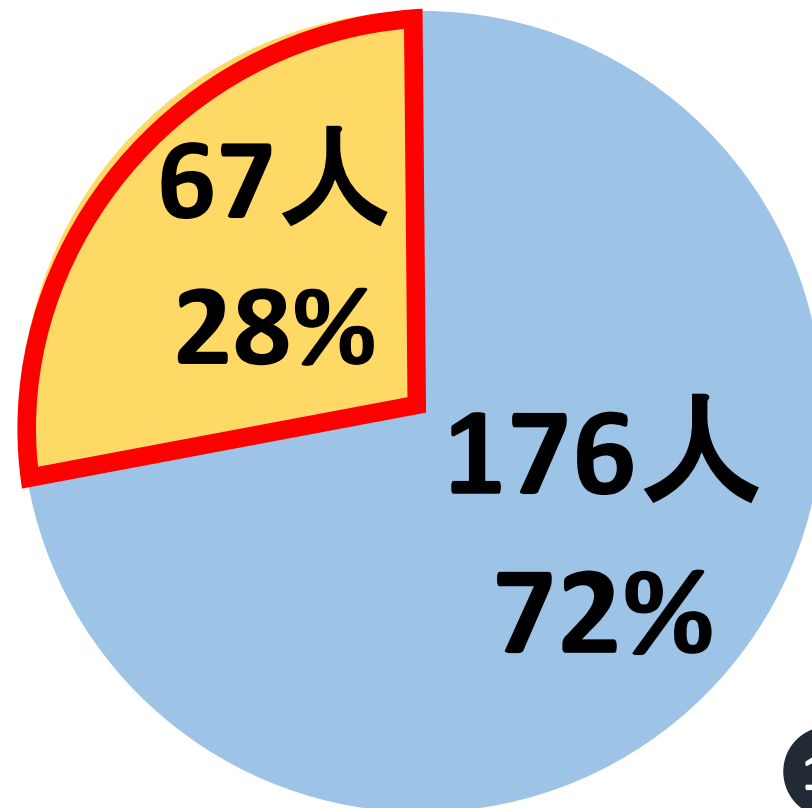
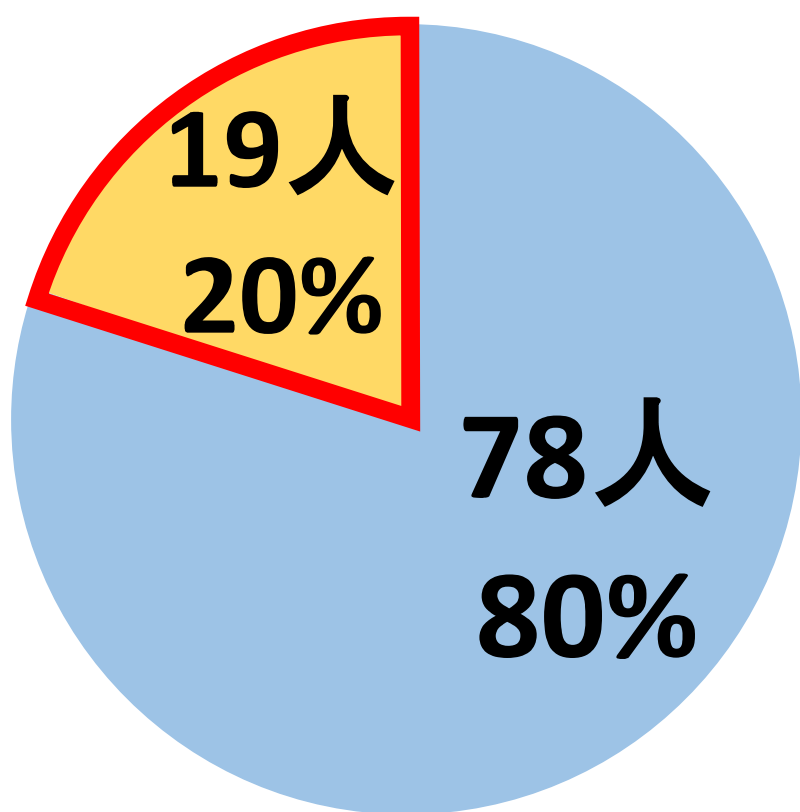
(9月23日～9月29日)

直近1週間

(10月21日～10月27日)

【感染者のうち居住地公表分(道外居住者を除く)】

■ 札幌市 ■ 札幌市以外



地域別の新規感染者数(振興局別)

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	ツク	オホー	十勝	釧路	根室	その他	合計
9月23日 ~ 9月29日	1	86	2	5	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	10	107	
9月30日 ~ 10月6日	1	106	6	5	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	14	138	
10月7日 ~ 10月13日	7	123	16	11	4	1	0	9	0	0	0	0	1	0	9	181	
10月14日 ~ 10月20日	13	90	10	3	23	0	0	1	0	0	0	0	20	1	19	180	
10月21日 ~ 10月27日	1	194	8	4	2	2	0	4	0	1	2	4	21	0	48	291	

感染者の主な行動履歴

- 道外との往来
- 飲酒を伴う会食・会合
- 職場内
- 家庭内

一か月間で見られた道内の集団感染事例

- 接待を伴う飲食店等 16件(162人)
- 学校 2件(35人)
- 事業所等 5件(32人)
- 福祉施設 5件(41人)

「警戒ステージ 2」における
感染拡大防止に向けた施策について
(案)

【令和2年10月28日】

集中対策期間

～感染拡大を抑え込むため、集中的に取り組む施策～

期 間

令和2年10月28日(水)から令和2年11月10日(火)まで2週間

内 容

特措法第24条第9項に基づく協力要請を行うとともに、更なる感染拡大防止対策を実施

特措法第24条第9項に基づく協力要請の実施

- 発熱や咳があるなど体調が悪い場合に外出を控える
- 飲酒を伴う場面などにおける感染リスクを回避する行動の実践
特に札幌市内での徹底
- マスクの着用など高齢者、基礎疾患を有する方等と接する場合の慎重な行動の実践
- テレワークの推進や時差出勤などの更なる活用
- 国の接触確認アプリ（COCOA）や道のコロナ通知システムの更なる活用

感染拡大防止対策の更なる強化

- 感染者の増加を見越した相談診療検査体制の更なる整備
 - ・感染の兆候を把握し検査につなげるため、一般相談窓口の体制強化
 - ・発熱患者に対する診療体制等の整備
 - ・感染拡大地域における積極的なPCR検査等の実施
 - ・集団感染が発生した際の振興局ごとの即応体制の更なる整備や、「北海道感染症広域支援チーム」の迅速な編成・派遣
- 普及啓発等の強化
 - ・「普及啓発用資料」の活用、出前講座の実施
 - ・札幌市内の多くの人々が利用する場所での集中的な広報
 - ・繁華街でのマスク着用などの個別啓発
 - ・北海道スタイルの実践やテレワークの推進など、企業に対する働きかけ

■ 体調が悪い場合の例

- 発熱や倦怠感、咳、のどの痛み、味覚・嗅覚の異常、筋肉関節の痛み、吐き気がある場合など

■ 感染リスクを回避する行動の例

- 次のような場面において、「マスクを着用する」、「人との距離を取る」「大声を控える」などにより、感染リスクを回避
 1. 飲酒を伴う場面、
 2. 仕事後や休憩時間、
 3. 集団生活、
 4. 激しい呼吸を伴う運動、
 5. 屋外での活動の前後、
 6. 多くの人が集まるイベント等
- 高齢者、基礎疾患を有する方等と接する場合には、「マスクを着用する」「距離を取る」などにより感染リスクの回避

新型コロナウイルス感染症について

当別町福祉部保健福祉課(R2.10.27)

1 発生の状況

(1) 国内の発生状況(厚生労働省発表)

10月27日 0時までに確認されているPCR検査陽性者は96,340名。

	PCR検査 陽性者数	入院治療等を要する者		通院又は療養解 除となった者の数	死亡者数	確認中
			うち重症者			
国内事例	96,340	5,499	165	89,092	1,724	73

(2) 道内の発生状況 (R2.10.27現在)

2,881名 (死亡109名)

	PCR検査 陽性累計	現在患者数	軽症・中等症		重症	死亡累計	陰性確認 済累計
道内事例	2,881	331	329	2	109	2,441	

現在の患者数 331人の内		
	宿泊療養施設 入所者数	入院者数
	180	151

新規検査人数計	本日の陽性者数	陽性率
764	27	3.5%

削除

【振興局別】陽性累計

空知総合振興局管内	77名
石狩振興局管内	2,048名
後志総合振興局管内	154名
胆振総合振興局管内	55名
日高振興局管内	37名
渡島総合振興局管内	16名
檜山振興局管内	4名
上川総合振興局管内	66名
留萌振興局管内	5名
宗谷総合振興局管内	6名
オホーツク総合振興局管内	70名
十勝総合振興局管内	31名
釧路総合振興局管内	76名
根室振興局管内	4名
その他	232名

札幌市	1,756名
千歳市	129名
北広島市	18名
石狩市	13名
恵庭市	9名
江別市	9名
当別町	※ 1名
市町村非公表	113名

※当別町では札幌市の病院での院内
感染が想定される1名を公表。

☆現時点における北海道の状況

ステージ 1

現在値			
項目	医療提供体制の負荷		
指標	病床の逼迫状況	療養者数	
	[病床全体]	うち重症者用病床	[=現在患者数] ※2
現在の状況	151床	2床	増加 311人 (216人)
(参考)※1 ステージ2	150床	15床	増加

1週間累計値				
項目	監視体制	感染状況		
指標	PCR 陽性率 ※3	新規報告数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
			[新規報告数]※3	
現在の状況	増加 4.7% (3.6%)	291人	増加 (180人)	41.9%
(参考)※1 ステージ2	増加	107人	増加	50%

(※1)ステージの移行にあたっては、感染者の発生状況等を踏まえ、総合的に判断

(※2)()は一週間前の数値

(※3)()は先週一週間の数値

【振興局別】 新規報告数(1週間累計)

空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川
1	194	8	4	2	2	0	4

留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	その他	合計
0	1	2	4	21	0	48	291

- 国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言「今後想定される感染状況と対策について」において、感染状況を4段階に区分し、移行の目安となる指標と、それぞれのステージで「講ずべき施策」が示された。
- 道としてはこの提言に準拠することを基本としつつ、本道における感染拡大を効果的に抑え込むためには、感染者が急増する前の段階における対策が重要であることから、本道の実情を踏まえて、指標及び講ずべき施策を設定する。
- 施策の実施に当たっては、感染はどこでも起こりうる可能性があることから全道域での取組を基本としつつ、広域分散型の社会構造を有する本道の特殊性を考慮し、感染状況や医療提供体制等を踏まえ、必要に応じて、特定の地域や業態を対象とした施策を講じるなど適切な対応を検討する。
- 道としては、この警戒ステージの考え方を含めて、道民や事業者と認識を共有し、この感染症のまん延の防止や医療提供体制への負荷の軽減を図りながら、地域と一体となって感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組を推進する。

目標

- ① 十分に制御可能なレベルに感染拡大を抑制するとともに、死亡者・重症者数を最少化
- ② 迅速かつ効果的に感染拡大防止対策を講じ、感染レベルをなるべく早期に減少
以上を通じて感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指す

警戒ステージの状況と対応の考え方

ステージ	状 況	対応の考え方	(参考) 国の分科会ステージ
1	<p>感染者が散発的に発生しており、医療提供体制に大きな支障がない段階</p>	<p>感染状況などを踏まえて、感染予防の徹底などについて注意喚起（感染状況に応じて、振興局による注意喚起）</p>	I
2	<p>感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階 3密環境などリスクの高い場所で集団感染が度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある状況。</p>	<p>特措法第24条第9項に基づく要請</p> <p>個々の行動変容に対する協力を要請</p>	II
3	<p>感染者がさらに増加し、医療提供体制への負荷がより一層高まる段階 集団感染が数多く発生するなど、さらに医療提供体制への負荷が蓄積し、感染拡大の防止に向けて、より強い対応が必要な状況。</p>	<p>特措法第24条第9項に基づく要請</p> <p>感染状況を踏まえたより強い行動変容に対する協力を要請</p>	
4	<p>感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階 ステージ3と比べて集団感染が広範に多発する等、感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。</p>	<p>特措法第24条第9項に基づく要請</p> <p>事業者に対する施設の使用制限など強い協力を要請</p>	III
5	<p>爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階 病院間集団感染の連鎖などの大規模かつ深刻な集団感染の連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要な状況。</p>	<p>特措法第24条第9項及び第45条に基づく要請</p> <p>国の緊急事態宣言を踏まえ、さらに強い協力を要請</p>	IV

警戒ステージの対応の目安

1	2	3	4	5
<p>北海道スタイルの実践・徹底など注意喚起</p> <p>感染状況に応じて、振興局による注意喚起</p>	<p>【法24条に基づく要請】</p> <p>◆行動自粛等の要請（社会経済活動への影響を抑えながら段階的に強化）</p> <p>（要請例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪い場合の外出自粛 ・3密を回避できない場所での会合自粛 ・高齢者、基礎疾患を有する方等の感染防止の徹底 など <p>※感染状況に応じて地域や業態を限定することも検討</p> <p>テレワークの推進や出勤抑制</p> <p>接触アプリ等のさらなる活用</p> <p>北海道スタイルなど、感染拡大防止対策の更なる徹底等</p> <p>北海道スタイルなど、感染拡大防止対策の更なる徹底等</p>	<p>（要請例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を講じていない施設への外出自粛 ・同種の集団感染が複数発生するなど、これまでの対策では感染リスクの回避が困難な業態への外出自粛 ・感染拡大地域との往来自粛 ・不要不急の外出自粛 など <p>※感染状況に応じて地域や業態を限定することも検討</p>	<p>◆施設の使用制限等の要請</p> <p>感染拡大防止対策を講じていない施設の使用制限等</p> <p>※感染状況に応じて地域や業態を限定することも検討</p> <p>◆イベント制限等の要請</p> <p>イベントの見直し等</p> <p>※感染状況に応じて地域や業態を限定することも検討</p>	<p>【法24条及び45条に基づく要請】</p> <p>道外との往来自粛</p> <p>全道の外出自粛</p> <p>施設の使用制限等</p> <p>※感染状況に応じて地域や業態を限定することも検討</p> <p>開催の自粛等</p> <p>※感染状況に応じて地域や業態を限定することも検討</p>
	<p>※警戒ステージに関わらず、全国の感染状況を踏まえ、感染が拡大している道外地域との往来自粛等に対する協力を要請</p>			

警戒ステージの指標（移行等の目安）

項目	指標		1	2	3	4	5
医療提供体制等の負荷	病床の逼迫の状況	病床全体	—	150床	250床	350床	900床
		うち重症者用病床	—	15床	25床	35床	90床
	療養者数		—	増加	増加	796人 (10万人あたり15人)	1,327人 (10万人あたり25人)
監視体制	PCR検査陽性率		—	増加	増加	10%	10%
感染状況	新規報告数		—	107人/週 (10万人あたり2.0人/週)	133人/週 (10万人あたり2.5人/週)	796人/週 (10万人あたり15人/週)	1,327人/週 (10万人あたり25人/週)
	直近一週間と先週一週間の比較		—	増加	増加	増加	増加
	感染経路不明割合		—	50%	50%	50%	50%

※各指標に掲げた数値を超える場合に次のステージへ移行することを原則とし、感染者の発生状況等を踏まえ、総合的に判断する